



鞍手町ワンヘルス推進宣言

新型コロナウイルス感染症をはじめとする人獣共通感染症は、人口増加、都市化や森林開発等の自然環境へ負荷を与える行為、これに伴う地球温暖化や生態系の劣化によって、人と野生動物の生存領域が変化したために、元々野生動物が持っていた病原体が人にも感染するようになったとされています。

このように様々な分野にまたがる問題が要因とされる人獣共通感染症に対応するためには、「人と動物の健康と環境の健全性は一つ」と考えるワンヘルスの理念に基づく総合的な取組が求められています。

福岡県では、全国に先駆けて「福岡県ワンヘルス推進基本条例」を制定し、人と動物の健康及び環境の健全性を一体的に守るための6つの基本方針を示すとともに、これを具体化した「福岡県ワンヘルス推進行動計画」を策定しました。

本町は、人と動物の健康及び環境の健全性を一体的に守り、次世代に継承していくため、下記の事項に取り組み、ワンヘルスを推進することをここに宣言します。

記

- 1 福岡県ワンヘルス推進行動計画の取組に連携・協力するとともに、ワンヘルス実践施策を推進します。
- 2 町民へのワンヘルスの周知に努め、理解の促進を図り、その実践活動に対し、必要な支援を行います。

令和7年4月1日

鞍手町長 岡崎邦博



FUKUOKA
ONE HEALTH

